

第1回 学校評議員会議事録

- 1 開催日時 令和8年5月28日 18:30～
- 2 開催場所 旭川志峯高等学校 多目的室I
- 3 出席者 桑 畠 保 夫 様 、 島 田 成 人 様 、 高 橋 輝 幸 様
張 興 和 様 、 田 中 啓 嗣 様
校長 井上 陽 介 、 事務長 菅原 淳子 、 教頭 内藤 佳和

4 意見交換

●【授業料の無償化】

評議員 ・高校では「授業料の無償化」をどのように捉えていますか？

学 校 ・今春からスタートし、さっそく高校の選択にも影響が出始めているように実感しています。
・私立高校にとっては専願者を増やすチャンスでもありますが、同時に選ばれる学校になるための体制づくりの必要性も実感しています。

●【働き方改革】

評議員 ・説明にある「働き方改革」には賛同します。部活動体制においてもこの改革は上手く機能していますか。

学 校 ・種目の特性により活動形態や大会時期が異なるため一律的な表現はできませんが、下校時間の厳守や休養日の設定、学習時間の確保については、種目に関係なく浸透させていきたいと考えています。
・同時に、教職員が時間に余裕を持ち、生徒に還元できる体制づくりを推進したいと考えています。

●【連携事業】

評議員 ・吉田学園との連携経緯と、現在それをどのように活用していますか。

学 校 ・吉田学園は札幌を拠点に多様な分野の学校を有しており、各々に専門的なノウハウを持っています。本校の各コースが関係の深い専門学校と連携し、出張授業やオンライン授業を実践することで、生徒の視野を広げる起爆剤にしたいと考えています。

●【AIの活用】

評議員 ・生成AIの指針は設けていますか。

学 校 ・教師、生徒ともに必要に応じて活用しています。今後は用途や場面に応じた指針を設けていく必要性を感じています。

評議員 ・受験では制限を受けますが、社会では使用頻度が日増しに増えてきています。学校としての指針づくりも必要な時期に来ているように思います。

●【入試状況】

評議員 ・今年度の入試状況はどのようになりましたか。また、転退学者についてはどのような状況ですか。

学 校 ・今年度の入学生は166名で、昨年度に比しほぼ横這いの結果となりました。特に専願者が多く、併願者は公立高校の倍率があがらなかったこともあり少数にとどまりました。
・転退学者は残念ながら例年数名出ているのが現状です。

評議員 ・現在は普通科ですが、新たに何かに特化した科を設けるのはどうでしょうか。昨今は理工系や情報系の学科も人気が出ています。

学 校 ・一部ではありますが、本校のライセンスコースでも商業や情報系の資格を取得できるようにしています。今後新たなアイデアがあれば是非参考にさせていただきたいと思っています。

●【就職状況】

評議員 ・この学校の生徒は総じて元気があり、地域と密着した活動にも積極的で、コミュニケーション能力も高いように思います。地元企業も求人に関して待遇改善に努めていますが、地元への就職希望やその定着率についてはどのような状況でしょうか。

学 校 ・卒業生の3割弱が就職を希望しています。本校の場合、道外や管外よりも管内希望の生徒が多いのが現状です。今後も本校に関心のある企業さんがあれば是非ご紹介いただきたいと思います。
・離職率については正確に把握していませんが、今春の卒業生にも数名離職したという噂は聞いています。今後は進路ガイダンス等を活用しながら、出来る限りミスマッチを防げるよう努めていきたいと思っています。

●【広報のあり方】

評議員 ・昨今「回覧」形式のものを嫌がる町内会長さんもおおり、町内と連携した取組以外には関心が集まらない現状があります。今後は、広報のあり方も一考する必要があるかもしれません。

学 校 ・数年前からそうした空気は感じており、町内会にお手間をおかけする紙ベースからSNS等への移行も検討しているところです。

評議員 ・地域連携で言えば、この地区は学校規模も大きく、小・中・高ともに吹奏楽の活動が盛んです。そうした中での連携事業や協働作業なども広報の一つとして検討してみたいと思います。

学 校 ・地域の方々に関心を持っていただけるような教育活動、同時に喜んでもらえるような企画を今後も検討していきたいと思っています。

●【安全配慮義務】

評議員 ・過日、部活動移動中での悲惨な事故報道がありました。バスの使用について本校では整備が十分になされていますでしょうか。

学 校 ・バスの利用については、先日の職員会議でも再確認をしたところです。まだ細かな点での課題は残っていますが、とにかくにも生徒が安心安全に遠征できることが第一であり、そのための体制整備に努めているところです。

●【学校評価】

評議員 ・働き方改革に連動し、職員評価は適切になされていますか。特に頑張っている職員については何らかの形で対価を検討すべきと考えますが。

学 校 ・職員評価は今年度から行うこととしました。また、評価項目の上位に授業を取り上げることが年度当初職員には伝えたところです。その評価の根拠の一つになるよう、生徒による授業評価を早期に実施したいと考えています。

●【屯田まつり】

評議員 ・屯田まつりは今年で40年を迎えます。学校や生徒による新たな出し物などについてはどのように計画されていますか。また、吹奏楽の参加は可能ですか。

学 校 ・学校としては、今年度も例年同様「一日」の参加を予定しています。参加者を任意していることから、新たな取組にまで手が回らないのが現状です。
・吹奏楽については、ちょうどこの時期は大きな大会とぶつかり、参加が難しいかもしれません。ただ、演奏依頼は部としても嬉しいことですし、いただければもちろん検討させていただきます。

以上

※聞き違いや聞き漏らし、及びニュアンスの異なる表現があるかもしれません。
何卒ご容赦いただきますようお願いいたします。